



日本農芸化学会 2013 年度大会

ランチョンセミナー LS3

新規食品素材ピロロキノリンキノン (PQQ)

日時：3月25日(月) 12:30～13:20

場所：東北大学 川内北キャンパス B11会場（講義棟B101）

演者：Robert B. Rucker 名誉教授

（カリフォルニア大学 デービス校 栄養学部）

マウスでの PQQ 欠乏症の Science 誌での発表(1989年)を始め、PQQ 研究を長年続けてきたこの分野のスペシャリスト。講演は英語で行います。

座長：外山博英 教授

（琉球大学 農学部亜熱帯生物資源科学科 発酵・生命科学分野）

ピロロキノリンキノン (PQQ) は 1979 年に第 3 番目の補酵素として微生物で発見されました。微量ですが、日常摂取している飲食物や体内にも存在します。微生物での機能・構造研究に加えて、マウスでの欠乏症や、新規ビタミンの可能性の報告があり、細胞や動物レベルでの生理的機能についても興味が集まっています。米国で脳機能改善を訴求する健康食品素材として、また、国内では化粧品原料として使用され始め、産業的な応用面も開拓されつつあります。強力な抗酸化作用に加えて、神経保護作用やミトコンドリア新生などの作用が報告され、様々な機能を持っている低分子キノン化合物として益々の注目を浴びています。この PQQ の焦点をあて、これまでの知見を概観するとともに、新たな機能探索の最新情報を提供いたします。

シンポジウム 4SY15 新規食品素材ピロロキノリンキノン (PQQ) の機能探索
(3月27日(水) 13:30～16:30、B202会場（講義棟B棟2階B202）も開催いたしますので、合わせてご参加ください。



三菱ガス化学株式会社

〒100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2 TEL 03-3283-4772 FAX 03-3283-5184

関連 Web サイト <http://biopqq.com/>